

クマ出没への対応

令和〇年〇月版

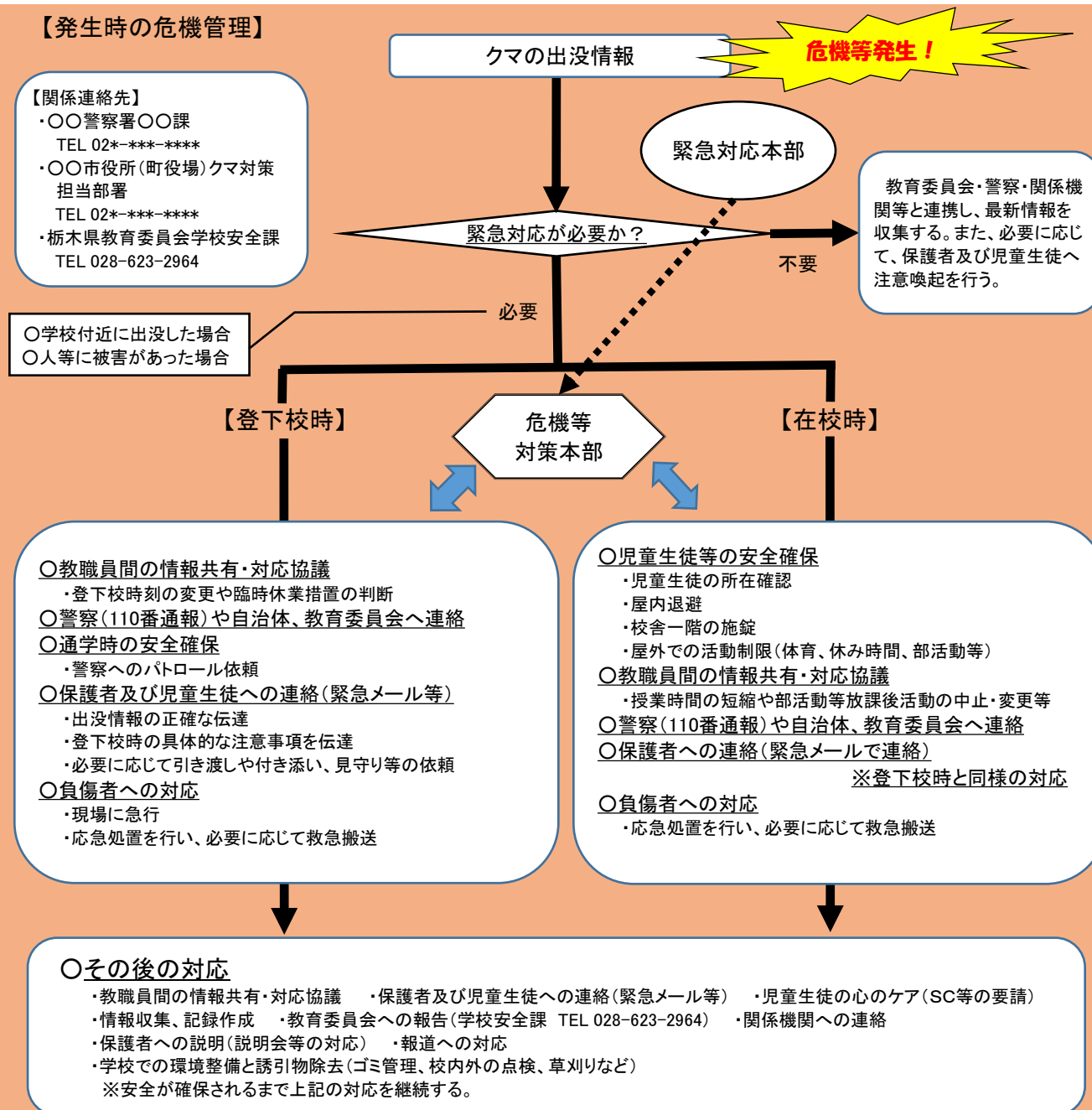
【対応方針】

- クマによる被害を防ぎ、児童生徒の安全確保に努める。
- クマの校内への侵入及びクマとの遭遇を防止するため、学校環境の整備に努める。
- 保護者や警察、自治体等と連携し、児童生徒の安全確保に努める。

【事前の危機管理】

- ☐ 学校環境の整備 ☐ 警察や自治体等との連携体制の構築 ☐ 保護者等への引渡し方法等の確認
- ☐ 授業や学校行事等の見直し ☐ 児童生徒への安全指導(登下校含む)

【発生時の危機管理】



【事後の危機管理】

- ☐ 教職員間での情報共有 ☐ 保護者及び児童生徒への情報提供 ☐ 危機対応の検証
- ☐ 再発防止策の検討 ☐ 報告書の作成 ☐ 継続的な心のケア ☐ 危機管理マニュアルへの反映
- ☐ ヒヤリハット事例への反映

マニュアル作成の留意事項(クマの出没)





項 目		各項目における留意事項
事前の危機管理	学校環境の整備	<p>◆クマ侵入及び遭遇防止の視点による対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クマ侵入防止用の設備設置や雑草等の刈り払いにより見通しを確保する。 ○避難誘導経路を複数確保する。 ○校舎内侵入防止のために施錠状態を確認する。 ○誘引物(生ゴミ、廃棄野菜、農場資材、実のなる樹木等)については、適切な管理を行い、必要に応じて除去・整備する。 ○クマ対応物品を準備する(クマ撃退スプレー、クマ回避シート、爆竹、クマホーン等)。
	警察や自治体等との連携体制の構築	<p>◆警察等関係機関との連携体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クマの侵入等があった場合、警察や自治体等の関係機関と連携した対策が求められるため、日常から連絡体制を構築する。 ○栃木県警アプリ「とちぎポリス」等を利用し、近隣のクマ出没情報を適宜確認する。 <p>◆近隣学校等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近隣の学校等にも影響がある場合なども想定されることから、近隣の学校等との連絡体制を構築する。
	保護者への引渡し方法等の確認	<p>◆クマ出没時の引渡し等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校と保護者として事前にクマ出没時の帰宅方法(引渡し方法)を確認し、スムーズに児童生徒の安全を確保できるようにしておく。 ○場合により、学校で待機する方が安全なこともあるため、どう対応するかは危機管理体制で検討し判断する。 ○登校前、在校時、下校時など状況ごとの連絡方法(緊急メール等)を確認し、保護者と迅速に連絡ができる体制を構築する。
	授業や学校行事等の見直し(中止・計画変更等)	<p>◆計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校周辺でクマの出没情報があった場合は、安全が確保できないと判断した場合は、授業や学校行事の計画を見直す。 ○校外での活動場所にクマの出没情報があった場合は、事前に関係機関と協議を行うとともに、最新の情報を確認し、該当場所での活動を原則中止とする。
	児童生徒への安全指導の実施(登下校含む)	<p>◆クマへの対処法等の安全指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒にクマに対する対処法等を説明し、児童生徒が適切に対応できるよう指導する。(※1 児童生徒等への指導例参照) <p>◆登下校の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○可能な限り単独行動を避けて登下校する。 ○音で人の存在を知らせることができるよう、クマ鈴、笛、空のペットボトル等を携帯する。 ○危険な時間帯(クマの活動が活発な早朝や夕方)や場所(藪や沢沿い)を回避する。
発生時の危機管理	児童生徒の安全確保	<p>◆安全な場所への誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の所在確認を行い、必要に応じて、屋外にいる児童生徒を体育館等の屋内へ避難させる。 ○校舎の一階を施錠する。 ○屋外での活動(体育や部活動等)は、状況に応じて室内での活動に切り替える。
	情報共有・対応協議	<p>◆速やかな情報共有と収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1目撃者は管理職等へ報告し、速やかに校内で情報共有するとともに、学校から速やかに警察や自治体等へ通報し、指示や情報を得ることに努める。 <p>◆教職員間の対応協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登校前であれば、登下校時刻の変更や臨時休業措置の判断をする。在校時であれば、授業時間の短縮や部活動等放課後活動の中止・変更等の判断をする。
	負傷者への対応	<p>◆応急処置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒を危険な場所から安全な場所へ移動させ、応急処置を行う。また、登下校の際に、児童生徒が負傷した際は、現場に急行し、救急搬送を要請し、応急処置を行う。 <p>◆救急搬送要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ○救急車到着の際、負傷者がいる場所まで案内するとともに、負傷した際の状況や負傷者情報(住所、氏名、生年月日、保護者連絡先)を救急隊に伝えられるようにする。
	登下校の安全確保	<p>◆通学路の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○警察に協力を要請し、通学路のパトロールを依頼する。 <p>◆保護者及び児童生徒への連絡(緊急メール等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出没情報を正確に伝達する。(目撃した場所や、クマの頭数、大きさ等) ○登下校時の具体的な注意事項を伝達する。(複数で行動、音を出す等) ○必要に応じて、自家用車等での登下校を保護者に依頼し、児童生徒の引渡しを行う。

事後の危機管理	保護者及び児童生徒への情報提供	◆保護者及び児童生徒への連絡(緊急メール等) ○最新情報に更新し、翌日の対応(登校時間や方法等)について連絡をする。 ○休日等における屋外での過ごし方について指導する。
	継続的な心のケア	◆重大な事故等の発生 ○危機等により心身が不安定になった児童生徒に対して、スクールカウンセラー等の協力を得ながら、継続的に心身の状況を確認する。
	危機等対応の検証	◆危機管理マニュアルの見直し及び情報共有 ○危機等が発生した際の行動を教職員で検証し実践的な体制にするため危機管理マニュアルの見直しを行う。
	再発防止策の検討 ヒヤリハットの反映	○ヒヤリハット事例の反映を行い、教職員間の情報共有及び継続的な管理を行う。

※1 児童生徒等への指導例

- 自分の身を守り、クマを寄せ付けないための方策
 - ・クマがいそうな場所に行かないようにする。
 - ・早朝や夕方には特に注意する。
 - ・登下校時に音の出るものを携行する。(クマ鈴、自転車のベル等)
 - ・できるだけ1人で行動せず、友達と一緒に行動する。
 - ・クマが近くにいるサイン(足跡やフンなど)を見つけたら、その場を離れ、安全を確認した後、学校や警察に連絡する。
- クマに出会った際の対処法
 - ・クマに背を向けない。静かにゆっくりと後ずさりして逃げる。
 - ・持ち物を置いて、クマが気をとられている隙に逃げる。
 - ・大声で叫ばない。(クマが興奮する)
 - ・石や棒を投げつけない。(クマが興奮する)
 - ・グループで固まる。
 - ・子グマには絶対に近づかない。
 - ・商店や公共施設等に逃げ込み、保護してもらう。
- クマに襲われそうになった際の対処法
 - ・両手を首の後ろで組んで、地面に伏せる姿勢をとる。(頭や顔を守る)
- ＜クマ対応物品例＞
 - クマ撃退スプレー □クマ回避シート □爆竹(ロケット花火) □クマホーン □ホイッスル □ハンドマイク

※2 指導参考資料

- ツキノワグマの管理(栃木県自然環境課 野生生物・鳥獣対策班HP)
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/eco/shizenkankyau/shizen/kumahogokannri3.html>

- クマとの事故を防ぐためにリーフレット(栃木県自然環境課 野生生物・鳥獣対策班HP)
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/eco/shizenkankyau/shizen/documents/kumachirashi.pdf>

- 「クマ類の出没対応マニュアル改訂版(環境省自然環境局)」
 Ⅲ クマ類に遭遇した際にとるべき行動(P72から73参照)
<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

- 事故事件マップ(栃木県警察HP)
<https://map.police.tochigi.dsvc.jp/>


※3 参考資料等

- 「令和7年度 花巻市教育委員会等クマ出没対応マニュアル」(花巻市教育委員会)
- 「男鹿市教育委員会 クマ出没対応マニュアル(令和6年6月)」(男鹿市教育委員会)
- 「県立学校におけるクマへの対応について(令和7年11月)」(宮城県教育委員会)